

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

南小松島小学校
「学力向上実行プラン」

- 学ぶことの楽しさや伝え合うことのよさを実感するとともに、目的や意図に応じて、自分の思いや考えを明確にして表現する児童を育てる。
- 1人1台端末を効果的に活用し、児童の思考を広げ・深める。

学力向上検討委員会構成

学力向上推進員 小川江里②	委員 山下知子(教頭)・近藤明子(指導教諭)④・元木伸江(教務) 須崎雅美⑥・重松諒子⑤・久米川華③・青山実咲①
-------------------------	---

校長

高井 賢二

◎次の(1)～(3)をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

(1)知識・技能の習得

【各校の取組状況の把握について】 校内研修やメンター等、様々な機会を捉え、取り組み状況の把握を行う。

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○基本的な計算や漢字等について、具体的な目標をもって意欲的に学ぶ習慣が付きつつある。 ●既習の知識等と関連付けて、文章を読んだり書いたりすることに課題がある。	・習得した知識を既習の知識と関連付け、他の学習の場面で活用することができる。 ・語彙数を増やし、正確に読む・書く・話すことができる。	・朝のスキルタイムや授業の導入部等で、復習や既習内容の発展問題を取り入れた課題を与え、継続して行う。取り組む時間や点数を設定し、意欲的に取り組めるようにする。 ・目標や言語活動の設定を工夫し、聞き方・書き方・話し合う際の手引きやモデルを提示する。			

(2)思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○自分の考えを意欲的に発表し、友達の意見に関心をもって聞ける児童が多い。 ●目的や意図に応じて、自分の考えを明確にして表現することに課題がある。	・必要な情報を選んだり整理したりして、自分の考えをまとめることができる。 ・根拠や理由をあげて、自分の考えを表現することができる。	・思考ツールを用いて自分の考えを比較・分類・関連付けたりする活動に繰り返し取り組ませる。 ・新聞作りや報告文など国語科で学習したことを他教科等で活用する場を計画的に設定し、実生活で使えるようにしていく。			

(3)主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○一人一台端末を活用した学習に、意欲的に取り組む児童が多い。 ●自ら課題を見出して追求したり、少し難しい課題に対して知的好奇心を高めて粘り強く取り組んだりすることに課題がある。	・学習課題に対して必要感や目的・相手意識をもって楽しみながら取り組む。 ・自分の成長や課題を見付け、目標をもって学び続けることができる。	・1人1台端末(学習アプリやインターネット等)や学校図書館等を活用して、児童自身が自分に合った学習方法を選択して学べる環境を整える。 ・成果を共有したり発表(評価をもらう)したりする場を工夫するなど、具体的な目標をもって学び、学習に対する達成感を味わうことができるようにする。			

令和6年度 学力向上ロードマップ

